

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 令和2年 3月 30日

事業所名：すこやかキッズランド垂水

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	訓練別に必要な物以外は排除し必要な目的に沿ったスペースが確保で出来ている。	はいが多数でどちらともいえないの意見を少数頂き公園や砂場遊びも取り入れて頂き遊びのびと活動ができていると思います。という感想も頂いている。	引き続き必要な物以外を排除し安全なスペース確保に努める
	2 職員の適切な配置	子ども10名に対し過半数以上の職員を配置している。	全員”はい”との回答を頂く。	満足頂いているが緊急の時などでも人員の配置を継続していける様、改善を進めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的別にフロアを区切り利用者に視覚で分かりやすい区切りにしている。施設内は段差をほとんどなくし車いす、バギー等の対応	概ね”はい”という意見が多かったがじっくり見た事がないのでわからないという意見も少数あり。	利用者に視覚的分かりやすい設備環境を整え、できる限りのバリアフリー化に努めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃や利用者が使う玩具や教材等のアルコール消毒を定期的に行い清潔を保てるよう配慮している。療育に集中出来るようシンプルな環境を整えクッションマットや棚や机の角にクッションを付けるなど安全に出来るだけ配慮している。	全員”はい”との回答を頂く。	引き続き清掃、消毒を徹底していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝のミーティングや申し送りのカルテなどの確認を徹底し共通意識で利用者への支援を行っている。		引き続き、職員全員で取り組んでまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では実施していない。		第三者による外部評価は実施していないが子供たち、保護者の方が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の虐待防止、研修会議などを定期的実施		引き続き十分な時間を取り定期的な会議、研修を実施を行っていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者へのモニタリングでの聞き取りを行いそれを基に職員間での話し合いによりニーズや課題の分析を行い作成を行っている。		保護者へのモニタリングや送迎時での聞き取りをこまめに行いニーズに沿った計画の作成を心掛けていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団での取り組みや個々の課題を計画書に盛り込み子ども発達段階に応じて職員間の話し合いの上、作成を実施している。	全員”はい”との回答を頂く。	個々の成長と集団での取り組みを児童の発達段階や苦手な活動に沿って計画を実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員への聞き取り会議をもとにアセスメントを作成し子ども一人ひとりに応じた目標、支援に応じた項目の設定している。		保護者に分かりやすい具体的な支援内容の設定を継続して実施していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	子どもの発達状況に応じて職員が計画内容の伝達、周知を行い確認の上、実地している。	概ね”はい”という回答だが”わからない”という回答も少数あり	日々の児童の発達状況を把握し改善周知に努める
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	その日、新しく出来た事への報告、周知できるような時間を作り職員全員が療育内容の提案、把握、確認を行っている。		引き続き職員が自分の意見、提案が出来る時間環境を作り職員全員でより良いプログラムを提供できる様努めていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園と併用の児童の長期休みの時などは利用希望をとるなど出来るだけ利用して頂ける様に配慮している。	概ね”はい”という回答を頂いているが若干”わからない”の回答もあり。	引き続き出来る限り保護者、児童のニーズに沿った対応を心掛ける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別プログラムでの流動的なプログラムを実地		固定化しないよう日々の利用者の状況把握
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼での口頭での伝達や出社時に職員に目を通してもらう利用者の連絡事項の確認を徹底している。		引き続き朝礼などで支援内容の役割分担を確認の徹底を行っていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	こまめな報告を義務付け気が付いた点など記録する書類などで情報を共有、周知している。		引き続き気づいた事の記録やこまめな報告の徹底を行っていく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の健康状態、食事の摂取量など細目な記録を行うと共に随時、職員間の話合いの時間を設け検証改善を行っている。		利用者の日々の健康状態に職員全員が気を配り些細な変化も記録、検証していけるよう努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に計画、モニタリングの見直しを実施している。	定期的に十分な時間をとり利用者一人ひとりに適確なサービスの見直しを実施していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	出来る限り予定を調整し積極的に参加している。	参加を継続していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者や関連施設の希望、意向を調査し必要であれば実施を行っている。	保護者と連携しながら十分な情報共有を行っていける体制を作っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし	該当なし
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	参加できる機会を増やしていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない。	“いいえ”や“わからない”との評価が多数で、『障害の有無に関係なく、機会があれば交流させてほしい』との意見あり。 機会があれば検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。	保護者用の評価表に該当する項目無し	機会があれば検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用前の契約時に、説明を行っている。	全員”はい”との回答を頂く。	継続して行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を提示しながらの説明、支援内容をお伝えしている。	概ね”はい”との回答だが「前回との計画の変化をもう少し詳しく教えて頂けたら」との意見を頂いている。	より詳しく支援内容の説明が行える時間を設けられる様、検討改善を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時や電話での対応をその都度行っている。	”はい””いいえ””どちらともいえない”とほぼ同じ数の回答を頂いている。	保護者が相談しやすい環境、時間が作っていけるよう検討改善を行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎日の送迎時に報告、意見交換と電話での相談での共通理解に努めている。	概ね”はい”という評価だったが少数”わからない”との意見もあり	送迎時の保護者へのこまめな報告を共通理解を徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	希望があれば随時相談を受け付け保護者やご家族の支援を実施している。	”はい””いいえ””どちらともいえない”とほぼ同じ数の回答を頂いている。	保護者が相談しやすい環境、時間が作っていけるよう検討改善を行っていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	”いいえ”がほとんどで”わからない”の返答が少数あり	現在父母会等の実施予定は無い。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応、報告体制を整えており苦情があった際はそれに沿った調査、報告、保護者への説明を行っている。	概ね”はい”という評価だったが少数”わからない”との意見もあり	迅速に明確な対応が出来る様引き続き体制を整える。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童や保護者の特徴を捉え状態にそった分かりやすい連絡帳での伝達と送迎時での報告に努めている。	概ね”はい”という評価だったが少数”どちらともいえない”との意見もあり	児童、保護者の状態を把握ししより分かりやすい伝達に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	実施していない。	”いいえ”がほとんどで”わからない”の返答が少数あり	今後もできる限りの情報発信に努めると共に、改善できる点は検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の扱いについての同意書を保護者に頂いた上で個人書類の保管等や守秘義務の徹底に留意している。	概ね”はい”という評価だったが少数”わからない”との意見もあり	引き続き、研修などで周知し再確認を行っていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定を行い職員への周知は行っているが保護者への通達は一部しか行っていない。	”はい””いいえ””どちらともいえない”とほぼ同じ数の回答を頂いている。	一部しか行えていなかった保護者への通達を書類などを作成し周知徹底できる様、改善を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に二回、定期的に火災、地震と災害に応じた訓練を実施している。	”はい””いいえ””どちらともいえない”とほぼ同じ数の回答を頂いている。	継続して避難訓練を定期的に行い保護者への報告、伝達も行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止をはじめとする研修を行い一カ月に一度、定期的な研修も行き調査、課題の提示、改善、職員への周知を行っている。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者にも計画書に記載し十分な説明を行っている。		引き続き保護者へ十分な説明と理解を頂いていく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りを行い医者からの資料や意見書を基に注意事項や環境の徹底を行っている。		引き続き十分に留意し保護者からの聞き取りを行いミスが出ないように確実にアセスメント反映し職員間でも周知徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日、職員同士や資料を見て事例を周知する時間を設け共有している。		引き続き朝礼などで支援内容の役割分担を確認の徹底を行っていく。